

令和 6 年度
社会福祉法人 永平寺町社会福祉協議会
事 業 報 告 書

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日



<総括>

近年の介護保険収入の伸び悩みなどによる経営面での立て直しを図るべく、物価高騰の影響がある中でも、事業や事務の効率化など経費削減にも務めてきた。

今年度は、人員配置等の運営面での課題の改善を図るべく、昨年度の上志比デイサービスセンターと同様に、松岡デイサービスセンター、永平寺デイサービスセンターを平日型に移行する大きな運営形態の見直しを図ってスタートした。

また、各事業所においては日々の品質向上を目的とした利用者からのニーズ把握に努め、特に通所介護事業所では、行事や日常の中でも利用者の声に沿った取り組みを昨年より多く取り入れてきた。

さらに、日常的な経費や予算管理に関する適正な収支バランスの確保をするため、通所介護事業所を中心に運営改善を図るための会議を行い対応を図ってきた。しかし、品質やサービス面での向上は随所に見られたものの、大きな利用者確保には繋がらなかった。

社協全体では、地域内活動の広がりとともに支え合い活動やボランティア活動の普及と推進、福祉教育、予防活動の取り組みに加え、生活困窮者へのスピード感ある食糧支援など、関係機関との連携協力もあり多くの成果が出ているものもある。社協の強みを活かした高齢者や介護、障がい、その他の多様な相談にも各課、各事業所で対応するなど、地域福祉を推進する中核的な団体としての使命を果たすべく取り組んできた。

しかし、現状では職員が減少していく中で、事業において業務改善を図りながら、創意工夫により、運営や推進を図ってきたものの、通所介護事業所全体では利用者も思うように伸びず、利用者の落ち込みは当初の予測を大きく超え、訪問介護事業所や居宅介護支援事業所の利用実績も昨年度を下回ったことで介護保険事業所の収入が全体では大きく落ち込み、厳しい結果となった。

次年度に向けては、ここ近年取組んできたことを振り返り、見直しも含め引き続き取り組んでいくとともに、事業の効率化や適正な人員配置の見直しと検討などにより、全体はもとより、事業所ごとでも収支面での改善に向けて取り組んでいきたい。

厳しい現状の中、「住民主体、利用者本位」を念頭に置きつつ、ニーズに即した柔軟な対応ができるよう事業展開を目指していく一方で、令和7年度は経営の改善を図るべく経営コンサルティングの介入による経営改善計画を策定し、計画の実行と共に経営、財政の立て直しを図っていきたい。

法人運営事業

1. 法人運営事業

1) 評議員会の開催

回	開催日	内 容	出席者
1	R6/6/26	令和5年度事業報告ならびに決算の承認について	評議員14名中12名、 監事1名、正副会長、常務
2	R6/11/29	令和6年度第1次補正予算(案)について	評議員14名中11名 正副会長、常務
3	R7/3/27	令和6年度第2次補正予算(案)について 令和7年度事業計画(案)ならびに資金収支当初予算(案)について	評議員14名中11名 正副会長、常務

2) 理事会の開催

回	開催日	内 容	出席者
1	R6/6/10	令和5年度事業報告ならびに決算の承認について 運営規程の一部改正(案)について 令和6年度定時評議員会の開催(案)について	理事12名中9名、 監事2名
2	R6/11/20	令和6年度第1次補正予算(案)について 障害者相談支援事業所運営規程の一部改正(案)について 令和6年度第2回評議員会の開催(案)について	理事12名中12名 監事2名
3	R7/1/20	給与規程の一部改正(案)について 小規模多機能型居宅介護事業所「ほっこり」の今後の方向性について 松岡事務所について 経営改善計画の策定および支援について	理事12名中11名 監事2名
4	R7/3/19	令和6年度第2次補正予算(案)について 令和7年度事業計画(案)ならびに資金収支当初予算(案)の承認について 役員賠償責任保険契約(案)の内容の承認について 令和6年度第3回評議員会の開催(案)について	理事12名中12名 監事2名中1名

3) 監査の実施

【令和5年度決算監査】

回	開催日	出席者
1	R6/5/31	監事2名、会長、常務理事

【令和6年度中間監査】

回	開催日	出席者
1	R6/11/8	監事2名、会長、常務理事

【内部会計監査】

税理士による定期的な会計指導及び内部監査の実施継続。

開 催 日	出 席 者
R6/4/25, 5/20, 5/27, 6/26, 7/25, 8/26, 9/27, 10/25, 11/25, 12/26, R7/1/31, 2/25, 3/25	税理士法人 MMC 2 名、会計職員 2 名

4) 評議員選任・解任委員会の開催

回	開 催 日	出 席 者
1	R6/10/28	評議員選任・解任委員会委員 3 名

5) 経営改善会議の開催

開 催 日	内 容	出 席 者
12/16, 18, 20	財務状況の確認および今後の方向性について	理事、正副会長、常務

6) 社協会費及び賛助会費の加入促進

貴重な自主財源である会費納入依頼や会費使途について、区長会、広報誌等を通し説明と依頼を行った。令和 6 年度は 4 月より普通会员の募集を行い、加入促進に努めた。

【各会費の推移表】

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
普通会費	2, 393, 000 円	2, 448, 000 円	2, 460, 200 円
特別会費	0 円	10, 000 円	15, 000 円
賛助会費	0 円	5, 000 円	5, 000 円

<評価>

普通会費については、昨年比でプラス 12, 200 円の増収となっている。納入率は、93. 5% (R5 92. 3%) となった。再依頼などを行うことで昨年度をやや上回る納入率となったが、全地区納入には至っていない。来年度も 4 月に募集を行うが、丁寧に説明していく時間を設け町民の理解が得られるよう加入促進に努めていきたい。

7) メンタルヘルス対策事業

今年度も産業医と契約し、衛生委員会の設置をするなどメンタルヘルス対策に取り組んだ。

- ・心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）の実施。

ストレスチェック検査 実施月 令和 6 年 7 月、受験者数 97 名

9) 社会福祉大会の開催

令和6年12月7日に開催。なお、表彰選考委員会は書面決議にて実施。

- ・永平寺町社会福祉協議会会長表彰 15名
- ・永平寺町社会福祉協議会感謝状授与者 5名

10) 障がい者の雇用促進

「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき3名を継続雇用中

11) 仕事と生活の調和

職員の家庭生活状況に配慮した多様な制度利用を周知・勧奨しワークライフバランスの調和を図った。一方で有給休暇取得率は昨年より減少した。有給休暇が取りやすい職場環境改善に向けて、事務、業務の効率化に今後も取り組んでいきたい。

- ・有給休暇取得率 47%（一人あたりの取得日数9.4日）昨年比-0.2日
- ・介護休暇取得 2名
- ・子の看護休暇取得 2名（男性 2名 女性 0名）
- ・育児休業取得 1名

12) 災害時における各種関係機関との協力体制の確立

- ・令和6年能登半島地震において、5月と8月に職員計2名を輪島市社協へ派遣。

13) 経営基盤の強化

経営改善を図るべく、介護保険事業を中心に課を超えてプロジェクトとして取り組みを行った。

①経営改善プロジェクトの推進

- ・各事業所の紹介や、定期新聞、イベント情報など各事業所の特徴を生かした品質向上の取組の推進。
- ・デイ収入改善経営会議の定期開催。
- ・ホームページ等の活用。事業所の紹介動画等の掲載。
- ・見学会、体験利用の積極的な受入れによる利用促進。

②その他

社協内ネットワーク通信を有効活用し、事務の効率化や情報共有、各種研修案内などの周知徹底に努めた。

2. 永平寺事務所運営事業

永平寺地区の総合相談窓口として、相談業務及び連絡調整にあたってきた。

3. 企画調整事業

1) 苦情解決体制の整備

①苦情件数：1 件（前年比-2 件）

No.	苦情の種類・内容	発生日	解決状況
1	サービスに関すること(えいへいじ訪問介護ステーション) 【内容】サービス提供に関しての説明が不十分であった。	8/21	解決済み

<評価>

ご利用者の声の収集など、品質向上のための取組みを継続的に実施していく。

2) リスクマネジメント体制の整備

①事故発生件数：3 件（前年度比：-6 件）

内 容	件 数
車両事故(前進時 1)	1 件(前年度 3 件)
介護事故(施設内 2)	2 件(前年度 6 件)
その他の事故	0 件(前年度 0 件)

<評価>

事故発生に至る原因を検証、再発予防策を課・事業所内で検討し、職員間で情報共有に努めた結果、事故の発生件数が前年度と比べて減少している。

②運転時のアルコールチェックの実施

業務中の交通事故防止と法令遵守を目的として、法で義務化された検査機器および目視にてアルコールチェックを毎日実施。

3) コンピュータネットワークの運用

・勤怠システムの運用

勤務時間の管理や休暇取得の管理(一部職員を除く)をデータ化することで、給与事務の効率化を図り、法に基づいた適正な勤怠管理に努めた。

・デスクネッツ活用によるペーパーレス化（決裁の迅速化と費用節減）

・Wi-Fi システムの活用

各事業所に Wi-Fi システムを導入することで、事業所にとらわれることなく仕事を行うことができ、移動時間の短縮など業務効率の向上につながった。また、フリーWi-Fiを整備し、誰もがネットワークを活用できる環境づくりに努めた。

・勤務シフト作成支援ソフトの運用

通所介護事業所の勤務シフト作成の自動化を図り、効率的な事業運営を推進。

4. 企画広報事業

1) 広報紙の発行（「ほほえみ」隔月発行：全戸配布）

今年度より紙面構成を変えタイムリーな福祉情報、社協事業情報をよりわかりやすく伝えることに努めてきた。今後も幅広く町民に福祉活動や福祉情報に関心を持ってもらえるよう取り組んでいく。

2) フェイスブック・ツイッター（SNS）での情報発信

情報の発信が非常に円滑な SNS を活用することで、町民を中心にその日に起こったタイムリーな福祉情報や社協事業情報を発信に努めた。

3) ホームページの運用・改善

今年度は、地域で福祉活動を行う団体の紹介、イベント告知、協力者募集などを掲載している「福祉の掲示板」や町民向けの筋トレ教室動画の配信を追加し、福祉情報発信に努めたが、今後できるだけ頻繁に更新し、社協活動の PR につなげていきたい。

5. 研修事業

1) 社会福祉援助技術実習生等の受け入れ

①福井県立大学2回生 8名

回	開催日	内容等
1	R6/8/9	各事業所見学実習

②福井県立大学3回生 2名

回	開催日	内容等
1	R6/9/17～10/28 24日間	ソーシャルワーク実習

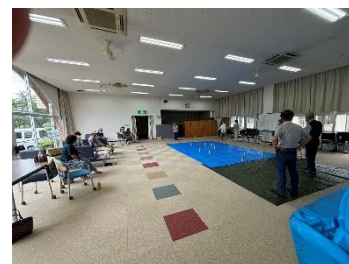
2) 局内研修

回	開催日	内容等
1	R6/8/20	当会の財源や会計書類の説明

6. やすらぎの郷管理運営事業

町民の方々にホールを幅広く活用していただき、また、イベントを行った。

- ・社会福祉大会
- ・認知症カフェ、ふれあいサロン
- ・ボランティアまつり 2024
- ・学習支援
- ・家族介護者交流・教室
- ・団体活動（ボランティア・福祉団体等）
- ・各種会議及び贈呈式等



地域福祉活動事業

1. 地域福祉事業

1) 地域福祉活動計画の目標達成に向けた取り組み

令和7年度の評価及び令和8年度からの次期地域福祉活動計画策定を鑑み、有識者（大学教員）のアドバイザー助言を得ながら、地域住民、福祉委員、社協職員などにアンケート（対面インタビュー）を実施した。

2) 福祉委員活動の推進

①福祉委員活動報告書の活用

＜活動報告書提出状況＞

松岡地区	132 件	前年度比	+55 件
永平寺地区	81 件	前年度比	+44 件
上志比地区	47 件	前年度比	+12 件
計	260 件	前年度比	+111 件

②福祉委員研修会の開催

2 日間の日程にて開催

（期 日）令和6年8月30日（金）14:00～15:30 19名参加

（会 場）福井県立大学永平寺キャンパス

（期 日）令和6年9月6日（金）18:30～20:00 22名参加

（会 場）永平寺開発センター

（内 容）身近な地域における住民方の生活・地域課題（お困りごと）の事例研修

3) 地域支え合い活動の推進

①地域福祉活動の推進

町民自らが地域の福祉（生活）課題に気づき、その解決に向けた取り組みができるよう、話し合いや活動の場を設けるなどして、町民と協働して地域福祉の推進に取り組んだ。

小地域福祉委員会を設置する自治会に対して、活動助成金を交付

（交付額 577,500 円 前年度比 +19,500 円）

松岡地区	17 件	前年度比	+3 件
永平寺地区	13 件	前年度比	±0 件
上志比地区	8 件	前年度比	±0 件
計	38 件	前年度比	+3 件

未設置区に対しても案内を行い、設置に至った区もあった。

②生活支援体制整備事業（地域包括支援センター所管）との連携した取り組み

生活支援コーディネーターと連携・協力して、生活支援体制整備事業（地域包括支援センター所管事業）の充実に向け取り組んだ。

【松岡地区】

吉野地区と松岡地区で設立された健康マージャン会の自主運営が継続している。
令和7年3月には第1回健康マージャン大会が開催され、地区を越えて交流した。
男性の閉じこもり防止や男性のサロン参加数の少ないという課題解決の一助となっている。

【永平寺地区】

生活支援コーディネーターと連携し、志比北地区地域支え合い座談会を開催。
前年度実施した「北っ子のわくわく交流会」の継続化に向け協議した。また、志比北幼稚園より以前から小学校と一緒にいていた行事の継続化が困難であるとの意見を伺い、地域住民との交流をコーディネートした。

4) 子どもを中心とした地域への愛着を育む事業【愛着を育む事業補助金】

地域の実情に応じた身近なテーマのもと、子どもが中心となり自分たちが住む地域を知るための活動に参加することで、地域への愛着を育み、「未来へつなぐ地域福祉の向上」を目的とした事業を行った。

【松岡小学校】

対 象：4年生 59名

目 的：自分たちが住む地域の未来、できることについて考える

活動名：「松岡福祉幸せたんけん隊」

今年度は地域共生社会をテーマに、子どもたちも地域で生活する一員をとして、ユニバーサルデザインやピクトグラムを取り上げ、実際に地域でのユニバーサルデザインやバリアフリーの探検ができ、災害が起こった場合に避難所を運営する模擬体験ゲームの活動も行った。また、ケーブルTVを活用し、活動の周知にも努めた。

活動推進委員：4名 活動推進委員会：7回

活 動：7回「地域と福祉のおはなし」

「使いやすさとわかりやすさを考えてみよう」

「お助けピクトグラム発表会」

「はあもにい永平寺とのふれあい」

「町中のユニ・バリを見つけよう！考えよう！」

「避難所ゲーム HUG を体験しよう」

「松岡福祉幸せたんけん隊★総合発表会」

【永平寺中学校】

対 象：永平寺中学校1年生42名・2年生46名 計88名

目 的：“地域の宝”に触れることで地域への愛着を育む。

内 容：1・2年生を対象とし、「探究学習」の中で「地域住民の方、地域にある社会資源との繋がり」の部分を社協が担った。

活動推進委員：4名 活動推進委員会：3回

活 動：4回 1年生「永平寺町クイズ王決定戦」「地域に飛び出せ！校外学習」

2年生「手作り紙芝居とカルタ in 地域ふれあいサロン」

「オリジナル体操 in 老人福祉センター」

2. ボランティアセンター活動事業

1) ボランティアセンター運営委員会の運営

	開催日	出席者数	内 容
第1回	R6/5/23	9名	・委嘱状の交付、運営委員長・副委員長の選出 令和6年度事業計画について ・「夏のボランティアまつり2024」について
第2回	R6/7/18	9名	・「夏のボランティアまつり2024」について
第3回	R6/9/19	6名	・「夏のボランティアまつり2024」の振り返りについて ・今後のちょボラ活動について

2) ボランティア活動に関する相談・登録・コーディネート

	令和5年度	令和6年度	比 較
登録個人数	51名	32名	－19名
登録団体数	34団体(432名)	団体27(359名)	－7団体(－73名)

・ボランティア活動保険の登録者数を登録人数としたため、保険加入者減とともに実登録者数も減となった。今後活動保険の加入促進とともにボランティアしたい人とほしい人のコーディネートに注力していきたい。

【ボランティアしたい】

「歌を披露できるところはないか」、「楽器演奏を披露できる場はないか」など

【ボランティアほしい】

「デイサービスでの買い物付き添い、レクリエーションで何かして欲しい」、「除雪をしてくれるボランティアはいないか?」「自宅で傾聴してくれる人はいないか」など

【ボランティア活動保険関係】

「活動中の事故について」など

・「夏のボランティアまつり2024」について

目 的：ボランティア体験を通じて、ボランティアに興味を持ってもらうきっかけづくりをし、町内のボランティア活動の促進・活性化につなげていく。

日 時：令和6年7月27日(土) 15:00～19:00

場 所：永平寺町社会福祉協議会本所及びふれあいホール

内 容：・ボランティア体験コーナー（手話、防災グッズ制作）
・チェキで思い出づくり・エコキャップ回収・縁日広場・お菓子まき
・盆踊り（ボランティア、住民参加型）

その他：一般配分金事業助成金及び福井県シルバー連合協議会のシニアチャレンジ応援事業補助金を活用。

3) ボランティア講座の開催

日 時：令和 7 年 2 月 26 日（水）

開催場所：福井県立大学

参加対象：サロン代表者

参加者数：50 名

講 師：スマホ&パソコン教室ウォンツ福井本校

内 容：スマホで防災対策

4) 福祉教育・学習の推進

対 象：町内 7 小学校 4 年生

テーマ：「防災（避難所での要支援者への支援について）」福祉（防災）教育

ねらい：災害等が起こった際に開設される避難所へ高齢者、障がい者が避難してくることを想定し、車いす等どんなお手伝いができるのか、介助における工夫点は何かなどをみんなと一緒に体験し考える。

参加人数：134 人

防災教育サポーター協力：7 回、延べ人数：16 人

5) 積雪時における除雪ボランティア体制の整備

	令和 5 年度	令和 6 年度	前年度比
登録個人数	5 名	4 名	- 1 名
除雪件数	3 件	20 件	+17 件

6) ちょボラ活動（収集ボランティア活動等）の促進

- ・エコキャップやプルタブの回収活動として町内 16 箇所に回収 BOX を各設置。

	エコキャップ		プルタブ	
	回収量	ワクチン換算数	回収量	換金額
R5 年度	2247.5kg	1,123 人分	107.5kg	5,110 円
R6 年度	1374.1kg	688 人分	73.1kg	3,655 円
前年度比	-873.4kg	-435 人分	-34.4kg	-1,455 円

- ・エコキャップは「福井テレビエコキャップ運動委員会」経由で「世界の子供にワクチンを日本委員会」へ寄附。

- ・プルタブは換金後、「町共同募金委員会」を通して被災地へ寄附。

石川県令和 6 年能登半島地震災害義援金

7) ボランティア活動保険の加入窓口

- ・ボランティアセンター登録者の活動保険料（350 円）を助成

	令和 5 年度末	令和 6 年度末	保険料額
登録個人保険加入数	51 名	30 名	124, 250 円 (社協より助成)
登録団体保険加入数	34 団体 (432 名)	27 団体 (325 名)	
保険のみ加入数	379 名	433 名	自費加入

3. 地域ふれあいサロン事業

主に高齢者の身近なところでの集いの場にて生きがいづくりを目的に、自治会内のセンター等において、ボランティアや福祉委員、民生委員児童委員等の協力のもと、レクリエーションや健康体操を行うなど、健康維持（介護予防）と社会参加（閉じこもり防止）に向けた支援を行った。

1) 地域ふれあいサロン助成金の状況 3, 228, 800 円（前年度比：-253, 200 円）

松岡地区	26 ヶ所	昨年度比+1
永平寺地区	16 ヶ所	昨年度比-2
上志比地区	13 ヶ所	昨年度比-3
計	55 ヶ所	昨年度比-4

2) サロン代表者会議の開催: 2 回開催（94 名参加）

- ・ 助成金の事務手続き変更点説明と「令和 6 年度 地域見守り訪問助成金」に関する説明。
- ・ 地区サロン同士の交流の場となり、モルック大会の日程調整などもできた。
- ・ 県立大学生と地域サロンとの交流：9 回（学生数 27 人）

3) 活動の休止や縮小しているサロンへの支援強化、新規立ち上げの支援

【課題】

- ・ サロン代表者や参加者の高齢化、担い手不足、新しい参加者が増えない等モチベーションの低下もみられる。
- ・ 6 地区のサロンが担い手不足などの理由により中止したが、松岡地区にて 2 地区の新規立ち上げがあった。

4. 物品貸出事業

社協保有の福祉機器（車いす）や福祉車両を町民に無料で貸し出すことで、在宅での生活を支援する。また、地域での福祉活動や町民同士のつながりを促進する働きかけの一環として、レクリエーション用品や視聴覚機器等の無料貸し出しを行った。

	令和 5 年度	令和 6 年度	比 較
福祉車両（3 台）	129 件	73 件	前年度比 -56 件
物 品	251 件	270 件	前年度比 +19 件
計	380 件	343 件	前年度比 -37 件

5. 団体事務事業

住民団体の円滑な運営を補佐し、住民活動の支援、促進を図ってきた。

- ・永平寺町遺族連合会
- ・永平寺町英霊顕彰奉賛会
- ・福井県共同募金会永平寺町共同募金委員会

6. 子ども見守り強化事業

永平寺町子ども見守り宅食支援事業

地域の関係機関やボランティア等と協働を図りながら「宅食」と「学習支援」2つの取り組みを展開して、子どもの見守り支援を行った。

1) 宅食

主にひとり親家庭や見守りが必要な家庭を対象に、児童宅を月1回訪問する。上志比地区と永平寺地区を中心に展開。宅食を通して、対象世帯との関係を深めながら、見守り体制（対象者が抱える悩み、心配ごとに対する早期発見・予防対応）の強化を図った。※毎月第4金曜日に実施

実施回数 : 12回

延べ利用者数 : 323名（前年度比 +69名）

延べ利用世帯数 : 218世帯（前年度比 +47世帯）

福井健康福祉センター、障害者相談支援事業所や地域包括支援センターとも連携協力し、多問題を抱えるご家庭にも包括的な相談対応を行っている。

2) 学習支援

長期休暇中（夏休み等）の宿題や苦手科目の克服、学期末の復習をするため、拠点型の学習支援を実施。永平寺地区と上志比地区で実施。学習支援を通して、大人と子どもの相互の信頼関係に基づく安心安全な居場所づくりにも取り組んだ。また、参加者には軽食の提供も行った。

- ・春休み学習支援(4/5, 松岡) 実施回数 : 1回 延べ参加者数 : 2名
- ・夏休み学習支援(7/22~8/7) 実施回数 : 16回 延べ参加者数 : 115名 (+51名)
- ・冬休み学習支援(12/24~1/7) 実施回数 : 10回 延べ参加者数 : 119名 (+80名)
- ・春休み学習支援 (R7.3/26, 27) 実施回数 : 4回 延べ参加者数 : 60名 (3月は初開催)

7. 一般配分金事業・地域福祉事業

1) 地域見守り訪問助成金（交付額 212,565円）

熱中症予防啓発活動および冬季間の見守り訪問の為に、サロン参加者などを対象に R6/6/1 ~ R7/2/28 の期間内に行った見守り活動にかかる経費を助成金として支給した。

松岡地区	7ヶ所
永平寺地区	7ヶ所
上志比地区	3ヶ所
計	17ヶ所

2) つながりワーカー交流会

日 時:令和 6 年 11 月 6 日 (水)

行 き 先:敦賀市内

参加者数:22 名(松岡:12 名/永平寺:9 名/上志比:1 名)

内 容:各地区においての生きがい活動場所として認識されている地域サロンをさらに盛り立てるために、各地区のリーダー間の交流会「新幹線に乗って敦賀に行こう」を実施。代表者間で日頃のサロン運営に関して情報共有をすることで、代表者一人ひとりが課題を抱えることがないようにと意見交換ができた。

3) 地域いきいき交流事業

もちもち!なぞときお楽しみ会

日 時:令和 7 年 3 月 25 日(火)

会 場:松岡公民館

内 容:福井県立大学学生との共同企画として「誰でも参加できる、誰一人取り残さない居場所づくりイベント」として企画、実施した。

町内の小中学生、サロンの方々を主な参加者とし、世代を超えて楽しめる大学生企画の謎解きと、フードパントリーのお餅を活用したフードの提供をメインの内容として開催した。

参加者:64 名(子ども:31 名 大人:33 名)

4) つながり支援事業

内 容 住み慣れた永平寺町で自分らしく暮らす為に、生活困窮者を早期に発見し、食糧支援サポート体制が取れように食糧確保をしながら支援を行った。

5) スマホ講座

内 容 町内の住民を対象にスマートフォン操作の相談会を実施。相談件数 5 件。

8. 歳末配分金事業

1) 「秋ぶらり 老々世帯交流会」参加者数:10 名

日 時:令和 6 年 10 月 28 日(月)

会 場:「えちぜん大野荒島の郷」「永平寺老人福祉センター 永寿苑」

内 容:町内在住 75 歳以上の老々世帯の方を一堂に会し、参加者同士の交流、社協との新たな繋がりづくりを目的に実施した。

2) だれでも食堂事業

地域のお楽しみ会シリーズ

子どもたちおよび地域の居場所づくりを目的に子どもから大人(高齢者)まで地域の人が集い、孤立・孤独の防止を図る。昨年度開催時から対象を拡大。町内の全小中学校へ勉強部屋(学習支援)の案内と併せてチラシによる周知を行った。

○ひんやりお楽しみ会

開催日：令和6年8月5日(月)・8月8日(木)

会 場：小規模多機能型居宅介護 ほっこり

内 容：オリジナルクリームソーダを作ろう

参加者：52名(子ども：37名 大人：15名)

○ぽっかぽかお楽しみ会

開催日：令和6年12月24日(火)・12月25日(水)

会 場：老人福祉センター永寿苑・永平寺町社会福祉協議会社協本所

内 容：きらきらすノードームを作ろう

参加者：94名(子ども：49名 大人：45名)

3) 広報誌の発行事業

9. 災害配分金事業

火災等の災害に対して臨時に援助。

福祉サービス利用支援事業

1. 福祉総合相談事業

弁護士による無料法律相談所開設

- ・各地区持ち回りで毎月開催(全地区で電話相談での対応可能)。

開催回数	12回(前年度比：±0回)
相談者	42名(前年度比：-22名)うち電話相談3名(前年度比：±0名)

当会広報誌、役場広報誌、ポスター掲示等の広報活動を継続するとともに、金融機関や公共施設に予定表を掲示するなど周知に力を入れたが、相談者数は減少した。

2. 日常生活自立支援事業

永平寺町民の方を対象に、判断能力等に不安がある高齢者や障がいのある方が自立した日常生活を送れるよう、福祉サービス利用援助、日常的金銭管理、書類等預かりなどを中心とした生活支援を行う事業。生活状況が複雑化する中において今後も需要があり、福祉関係者から利用に至ったケースが多かった。

- ・利用者数：20人 前年度比(-1人)
(認知症高齢者12人、知的障害2人、精神障がい者6人)
- ・生活支援員：7人(前年度比+1人)
令和6年6月から市民後見人講座養成修了者2名を雇用中
- ・新規契約締結件数：2件(前年度比：-6件)
- ・契約終了件数：3件(施設入所1件・死亡2件)

日常生活自立支援事業 相談件数内訳（経路・内容別）

認知症高齢者等	231 件	前年度比 -61
知的障害者等	44 件	前年度比 + 1
精神障がい者等	84 件	前年度比 -30
計	359 件	前年度比 -90

3. 小口資金貸付事業

緊急小口福祉資金貸付事業（社協事業）

一時的な生活困窮に陥った人を対象に緊急的に資金を貸付し、世帯の自立更生を図る。

貸付件数／貸付額 2 件／60,000 円 貸付残 0 件／ 0 円 相談件数 4 件

1 件死亡により徴収不能金 30,000 円

4. 生活福祉資金貸付事業

1)

種 類	貸付件数	償還中
総合支援資金	1 件	1 件
教育支援資金療	9 件	9 件
療養・介護資金	1 件	1 件
計	12 件	12 件

令和 6 年度 相談人数：2 名 相談回数：4 回 貸付契約件数：0 件

・生活福祉資金の広報活動 当会 HP にて広報

2) コロナ特例貸付事務事業

新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少、休業、失業された方向けに「緊急小口資金」「総合支援資金」特例貸付金の償還期間である方や償還期間を過ぎた方への償還状況の把握をするため訪問を強化した。

貸付資金種類	貸付件数	償還中	償還済
緊急小口資金	42 件	27 件	15 件
総合支援資金(初回)	37 件	35 件	2 件
総合支援資金(延長貸付)	10 件	8 件	2 件
総合支援資金(再貸付)	12 件	9 件	3 件
計	101 件	79 件	22 件

※参考）償還開始時（令和 5 年 1 月）の貸付件数 152 件

コロナ貸付の返済支援に重点を置き、償還猶予や償還免除に関する把握を電話や訪問を強化し、丁寧に生活所状況を把握した。以前に償還免除となった方についても、現在の生活状況を把握することも同時に行った。

・コロナ貸付償還指導訪問件数及び面談件数

訪問件数 37 件

面談件数 9 件

償還免除者数 1 件

償還猶予者数 4 件

5. 段階的セーフティネット事業

当会が運営する福祉総合相談事業や他法人が運営する相談事業所との連携により、安全な食糧の提供や給付金の支給にて、生活困窮者等を支援する事業。申請者なし。

- ・相談件数 2件 相談回数 5回
フードパントリーを活用したため、申請なし。

6. 成年後見サポート事業

成年後見制度の説明、対象者の相談や成年後見制度の利用に結び付けるために地域包括支援センターとの連携により支援を行った。今後も中核機関である「ふくい嶺北成年後見センター」を活用するなど、相談に対応していきたい。

在宅福祉サービス事業

1. 配食サービス事業
2. 寝具洗濯サービス事業
3. 外出支援サービス事業
4. 家族介護(交流)教室事業

事業名	実績	
配食サービス事業	松 岡地区：50 名（3,692 食） 永平寺地区：21 名（1,650 食） 上志比地区：15 名（1,259 食）	※前年比 松 岡地区：-182 食 永平寺地区：+190 食 上志比地区：+128 食
寝具洗濯サービス事業	一人暮らし高齢者 ：計 143 名 要護 3 以上高齢者 ：計 17 名	※前年比 一人暮らし高齢者 ：+6 名 要介護 3 以上高齢者：-1 名
外出支援サービス事業	延べ利用件数：3,596 件	前年比：-1,665 件
家族介護（交流）教室事業	R6.7 月： 福井駅散策(交流会)、参加者 10 名 11 月： 介護技術の話(教室)、参加者 22 名 12 月：正月花寄せ植え(交流会)、参加者 18 名 R7.3 月： 認知症の話(教室)、参加者 44 名	

ホームヘルプ事業

1. ホームヘルプ事業
2. 介護保険対象外ホームヘルプ事業

	実利用者数 (前年比)	累計訪問回数 (前年比)	新規利用者数 (前年比)
ホームヘルプ事業	567 名 (-124 名)	5,074 回 (-1,773 回)	16 名 (-5 名)
介護保険対象外	27 名 (-31 名)	34 回 (-47 回)	—

<評価>

- ・比較的利用回数の多い方の入所や死亡などにより年間を通じて利用者が減り、また、新規も思うように増えず、実績は昨年度を大きく下回り厳しい結果となった。今後サービスに関するニーズを把握し利用者獲得に向けたアプローチや新たな加算を検討するなど収入確保に努めたい。

デイサービス事業

1. 松岡デイサービス事業

2. 永平寺デイサービス事業

3. 上志比デイサービス事業

事業所名	延べ利用者数 (前年比)	新規利用者数 (前年比)	稼働率平均 (前年比)
松 岡デイサービスセンター (定員：45 名)	6,343 名 (-1,339 名)	14 名 (-13 名)	57.0% (1.5)
永平寺デイサービスセンター (定員：40 名)	5,080 名 (-1,473 名)	15 名 (-8 名)	51.4% (4.1)
上志比デイサービスセンター (定員：35 名)	3,226 名 (-1,867 人)	12 名 (+2 名)	37.3% (▼21.7)

<評価：松岡デイ>

- ・平日型となり延べ人数は減少。また、1 月にはコロナ感染の広がりがあり、3 週間にわたって利用者減となった。
- ・新規や振替利用の受け入れを積極的に行ったほか、利用者に合わせたサービスにつながるよう他事業所との連絡を密にし情報共有を行った。
- ・レクリエーションでは季節に応じた行事を取り入れた。特に年 2 回の買い物外出はコロナ禍になってから実施できていなかったため大変喜んでいただき、継続してほしいとの声が多く聞かれた。
- ・備品の破損、修理を年度当初より行ったが建物や備品の老朽化がみられるため、必要に応じて町と協議しながら対策をしていきたい。

<評価：永平寺デイ>

- ・令和6年度の運営日変更により他事業所へ移行される利用者もいて、延べ利用者数は減少した。
- ・一方で永平寺地区に限らず松岡、上志比地区からの利用者の受け入れ、障がい者の受入を積極的にを行い年度末からは利用者数の伸びも見られている。今後も利用者の声を多く取り入れ、充実したサービス提供に努めていきたい。

<評価：上志比デイ>

- ・平日型運営となって2年目を迎え、他事業所と比較して定期的に短期入所をされる利用者の割合が高いなど、年間を通じて利用者も増えず厳しい結果となった。一方で行事の充実を図るなどアクティビティサービスの面では、特色を生かしたサービス提供を積極的に努めてきた。
- ・次年度に向けては運営面でのPRを積極的に図り利用者増に向けて取り組むとともに、人員配置の見直しなど収支バランスの維持を強く意識して取り組みたい。

小規模多機能型居宅介護事業

○R5年度より休止

えいへいじ訪問入浴介護事業

○自立支援のみ稼働

障害福祉事業

1. 障害者計画相談事業
2. 自立支援居宅介護事業
3. 松岡自立支援生活介護事業
4. 永平寺自立支援生活介護事業
5. 自立支援訪問入浴介護事業

事業名	実利用人数 (前年比)	新規利用者数 (前年比)
計画相談支援	49 名 (-15 名) ※契約利用人数	7 名 (-2)
障害児相談支援	43 名 (+2 名) ※契約利用人数	17 名 (+13)
自立支援居宅介護事業	247 名 (-5 名)	0 名 (±0)
松岡自立支援生活介護事業	14 名 (-4 名)	1 名 (+1)
永平寺自立支援生活介護事業	12 名 (-154 名)	0 名 (±0)
自立支援訪問入浴介護事業	36 名 (±0)	0 名 (±0)

<評価>

○障害者計画相談事業：

令和 5 年度から 6 年度にかけて事業所の人員体制が縮小した影響もあり、総利用者数は 10 名以上の減少となった。その一方で、新規契約数は堅調に推移しており、特に児童の契約数が大幅に増加していることが顕著に見られている。この傾向は、少人数体制の中でも新たなニーズに対応し、特定のターゲット層において高い需要が続いていることを示唆している。また、経営面においては、令和 5 年度との比較で総収入は約 6%の減少に至るも、総支出は 30%以上の抑制に成功するなどコスト管理の改善も確実に進捗。依然として赤字事業所の一つではあるが、収支のバランスは徐々に整いつつある状況である。

今後も多様な困難事例に柔軟に対応できるよう、専門性のさらなる向上を図るとともに、コスト意識も徹底しながら持続可能な事業推進に努めていく。

えいへいじ居宅介護支援事業

ケアプラン作成件数 (前年比)	予防プラン作成件数 (前年比)	要介護認定調査件数 (前年比)	新規利用者数 (前年比)
1,908 件 (-742 件)	345 件 (-100 件)	171 件 (-65 件)	45 名 (+18 名)

<評価>

前年度と比べ、-2 名の減員体制となったことに加え、入院や入所に至る利用者も多く、プラン作成件数は減少となった。一方で、新規利用者の受け入れについては増加となり、積極的に行ってきた結果と捉える。今後も職員体制に課題はあるが、初期の相談には柔軟に対応し、収入面を意識した新規利用者の受け入れや要介護認定調査の受け入れを継続していく。

施設管理運営事業

1. 老人福祉センター運営事業

開所日数	238 日（前年比-6 日）
延べ利用者数	3,467 名（前年比+302 名）

地域包括支援事業

1. 包括的支援事業

1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワーク構築業務

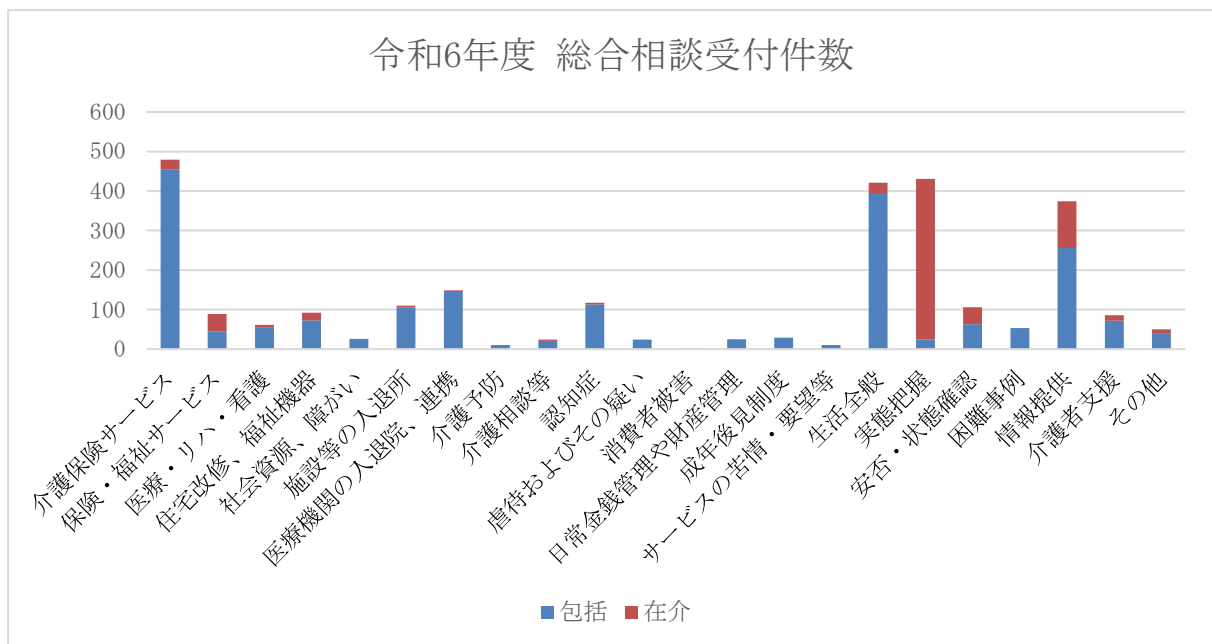
地域ケア会議 ・ 個別ケース 8 回、自立支援ケア会議 9 回

②実態把握業務

実態把握 431 件（前年同期比 -64 件）

③総合相談業務

	地域包括支援センター	在宅介護支援センター	合計
令和 6 年 4 月～ 令和 7 年 3 月	2,038 件（+39 件）	729 件（-387 件）	2,767 件（-348 件）



④総合相談窓口としての周知

ふれあいサロン等への出前講座 5 件

2) 権利擁護業務

問題解決が困難な状況にある高齢者が、地域で安心して尊厳のある生活をおくることが出来るよう、専門的・継続的な視点からの支援を行った。

(前年同期比)

項目	実人数	延べ相談・対応件数
成年後見制度の活用	11 名 (+1 名)	29 件 (+11 件)
福祉施設等への措置	0 名 (±0 名)	0 件 (±0 件)
高齢者虐待(疑い)への対応	9 名 (-1 名)	24 件 (+6 件)
困難事例への対応	12 名 (-18 名)	53 件 (-20 件)
消費者被害の防止	1 名 (+1 名)	1 件 (+1 件)
介護者支援	34 名 (-13 名)	86 件 (-37 件)

3) 包括的継続的ケアマネジメント事業

①介護支援専門員(ケアマネ)に対する支援

- ・ケアマネ連絡会の開催 12 回
- ・ケアマネ個別相談(延べ) 3 件
- ・研修会の開催 3 回

テーマ「援助関係に基づくケアマネジメント」「医療との連携について」

「ケアマネジャーが知っておきたい成年後見制度活用のポイント」

②地域密着型サービス事業所との連携

- ・運営推進会議に参画 4 事業所 20 回出席

4) 在宅医療・介護連携推進に関する業務

①関係機関との連携体制構築支援

- ・多職種連携研修会を開催 2 回

6 月 25 日(火) テーマ「多角的に考える! Advance Care Planning」

永平寺町立在宅訪問診療所 医師 久野 哲弥 氏 参加者 28 名

11 月 27 日(水) テーマ「当院の在宅における漢方薬の使用状況について」

永平寺町立在宅訪問診療所 医師 深谷 一勤 氏

テーマ「私の在宅診療 20 年～仏法と方剤と共に～」

敬二郎クリニック{香川県} 院長 三宅 敬二郎 氏

参加者 37 名

②住民への在宅ケア普及啓発活動

令和 7 年 2 月 22 日(土) テーマ「あなたのかかりつけ医はどこですか?～生活習慣病の予防のために～」

永平寺町立在宅訪問診療所 医師 久野 哲弥 氏 参加者 48 名

③在宅医療介護連携のための取り組み

9 月 17 日 意見交換会 福井大学医学部附属病院地域医療連携部 看護師長、
医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員

5) 生活支援体制整備事業

住民が主体となった支え合い活動を推進。地域全体で住民の生活を支える体制づくりに向けて地域福祉推進課・地域福祉活動コーディネーターと連携し取り組んだ。

- ・志比北地区地域支え合い座談会 2回
- ・志比北地区住民と志比小学校児童との交流会
- ・松岡健康マージャン会ならびに吉野健康マージャン会の継続支援
- ・自立支援ケア会議を通した「あったらいいな」(社会資源)の集約

6) 認知症総合支援事業

①認知症サポーター養成講座の開催

- ・養成講座 2回 認知症サポーター養成数 74名
- ・福井県キャラバン・メイトフォローアップ研修の参加 8名

②認知症地域支援・ケア向上推進事業

- ・認知症地域推進員新任者研修受講 1名 ※認知症地域支援推進員(町民4名登録)
- ・認知症講演会「正しく知ろう認知症のこと」 医師 武藤悠平氏 35名参加

③認知症カフェ

- ・3か所への企画、運営の支援

④徘徊高齢者などへの対策強化

- ・徘徊高齢者等 SOS ネットワーク登録者 7名(令和7年3月31日現在)

7) 介護予防支援事業

①介護給付による介護予防支援

	令和5年度	令和6年度
介護予防ケアプランの作成数	1,593件	1,536件
うち委託数	927件	913件
委託率	58.1%	59.4%

②総合事業による介護予防ケアマネジメント

	令和5年度	令和6年度
介護予防ケアプランの作成数	861件	969件
うち委託数	535件	515件
委託率	62.1%	53.1%

8) その他

①地域包括支援センターの業務を円滑に進めるための他部門との連携

- ・福祉保健課との連絡会、在宅介護支援センターとの連絡会(毎月開催)。

②福祉、医療人材育成への協力(実習生の受け入れ)

- ・福井大学(医学部医学科、看護学科)、福井県立大学(看護福祉学部) 計28名。

2. 一般介護予防事業

高齢者を対象に要介護状態になる前の段階から予防を行い、日常生活の向上や社会活動への参加、生きがいがづくり、運動意欲の継続を目的に実施した。

1) 介護予防教室の開催

- ・筋力トレーニング（ぞくぞく教室・もりもり教室）

	ぞくぞく教室		もりもり教室	
	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度
回 数	281 回	258 回	10 回	10 回
延べ人数	1,700 名	1,677 名	55 名	69 名

- ・こつこつ教室 2会場（翠荘、さおう荘）

高齢者を対象に音楽や運動による健康教室を実施。

	令和5年度	令和6年度
回 数	91 回	84 回
延べ人数	1,256 名	1,167 名

- ・筋トレ教室 元気高齢者を対象にした、筋力アップにつながる運動教室を実施。

会 場		令和5年度	令和6年度
やすらぎの郷	回 数	44 回	43 回
	延べ人数	677 名	750 名
永平寺開発センター	回 数	41 回	38 回
	延べ人数	979 名	932 名
老人福祉センター 永寿苑	回 数	44 回	45 回
	延べ人数	632 名	785 名
ふるさと学習館	回 数	43 回	41 回
	延べ人数	423 名	396 名

- ・ケーブルテレビ放映を継続 「いきいき百歳体操」「音楽で体操」「TV 体操」
- ・地域サロン事業等での介護予防出前講座 4 回
- ・地域づくりによる住民主体のいきいき百歳体操の普及 21 か所
- ・地域介護予防活動支援事業
 - フレイル周知活動 11 会場 参加者 計 254 名
 - フレイルチェック 4 会場 参加者 計 62 名
 - フレイルサポーター養成講座 1 回 新規登録者 5 名
 - 永平寺町 HP ユーチューブ動画撮影 サポーター2 名参加

3. 在宅介護支援センター事業

①高齢者の安否確認、実態把握及び相談対応

	令和 5 年度	令和 6 年度
安否確認	1, 295 件	1, 125 件
実態把握	466 件	407 件
相談対応	1, 124 件	729 件

②地域包括支援センターとの連携（ブランチ）

一人暮らし高齢者等への実態調査や生活支援サービスにつなげるなど初期相談対応を行い、民生委員や関係機関との情報共有および連携を行った。

③令和 6 年 4 月より、ほっこりから永平寺老人福祉センターへ事業所を移転。

④安否確認（見守り訪問）

高齢者世帯宅へ訪問し、熱中症予防など時期に応じた体調管理に努めるよう注意喚起を行った。

基金運営事業

1) 福祉基金運営事業

社会福祉事業の推進にあたり、必要とする費用の財源対策として積み立てる基金

2) 地域福祉事業安定化基金運営事業

住民の福祉需要に対応し、地域福祉事業の安定的な発展を図るため積み立てる基金

3) 介護保険事業運営安定化基金運営事業

介護保険事業運営に必要な財源の安定的確保を図るために積み立てる基金

4) 施設管理運営安定化基金運営事業

自ら保有する施設の維持管理及び適正な運営に必要な財源の安定的確保を図る目的で積み立てる基金